

地域に根差した「食」で支える

——誰一人取り残さない実効性のある栄養改善対策を推進——

地域住民の健康維持や増進にまつわる事業を行う「都道府県栄養士会」。

主な活動や地域での役割などについて、連載でお届けする。

今回は、福井県栄養士会の主な活動内容について、阿部喜代子会長から紹介してもらった。



栄養管理・食育研究会でのディスカッション、情報交換会



福井県栄養士会新入会者のあつまり



講演会参加者

はじめに

福井県栄養士会は、福井県内の管理栄養士・栄養士で構成される職能団体として、地域に根差した栄養活動を展開しています。昭和19年の創立以来、医療・介護・学校・行政・福祉・企業など多様な分野で専門性を発揮し、現在500人強の会員が活動しています。少子高齢化や生活習慣病対策、災害対応など地域課題が多様化する中、「食」を通じて地域住民の暮らしを支える実践を積み重ねています。

各行事の開催

◆新入会員交流会

若手の先輩に聞いてみよう！
話してみよう！！
定時総会の日に、新卒者や新規入会員が気軽に参加できる交流の場を設けています。あわせて、卒業後2～6年程度の若手会員にも参加していただき、栄養士会活動への理解を深めるとともに、会員同士のつながりづくりを図っています。
交流会では「若手会員大集合！先輩と語ろう、仲間とつながろう」をテーマに、仕事のことや日頃感じ

ていることややりがい、キャリアのことなど自由に語り合いながら交流を深めています。新しい仲間との出会いや、気軽に相談できる関係づくりの機会となるよう明るく楽しい雰囲気の中で開催しています。また、交流会をきっかけに11月開催予定の「栄養管理・食育研究会」など今後の研究会活動への参加につなげ、継続的な学びと会員同士の交流の輪を広げていきたいと考えています。

◆栄養管理・食育研究会

24年間続いた栄養管理研究会を基盤として発展し、令和8年度で14回目を迎えました。会員が日頃の実践や研究成果を発表する場として継続しており、毎年10題前後の演題発表を行っています。また、本研究会での発表を契機に日本栄養改善学会北陸支部学術総会へつながる事例もあり、会員の学術活動を支える重要な機会となっています。

令和7年度からは従来の発表・質疑応答中心の形式を見直し、発表後に「ディスカッションタイム」を導入しました。参加者が自由に意見交換や情報共有を行うことで発表内容への理解を深めるとともに、実践現場での課題や工夫を共有す

る双方向型の学びの場となっています。

参加者からは「他施設の取り組みを詳しく知ることができた」「気軽に質問ができて理解が深まった」「交流が深まった」といった声が寄せられており、研究成果の共有だけでなく会員同士が学び合う場として充実を図って行きたいと考えています。

◆年末懇親会

以前は「クリスマス会」として開催していた行事を、より幅広い会員が参加しやすい交流の場として「年末懇親会」に改めました。当日は来賓や賛助会員も参加しますが、主役は会員一人ひとりで

懇親会では、福井県栄養士会の活動紹介やお楽しみ企画、抽選会などを実施し職域や所属を越えた交流の機会を提供しています。研究会や会議とは異なる雰囲気の中で親睦を深めることで、新たなつながりや協力関係が生まれています。

参加者からは「普段話す機会のない方と交流できた」「栄養士会の仲間とのつながりを実感できた」といった声も聞かれ、毎年楽しみにしている会員も少なくありません。会員相互のネットワークづくりを支える大切な事業となっています。

会員参加型企画 研修チーム

令和8年度福井県栄養士会では、会員の声をより研修事業に反映させるため「会員参加型企画研修チーム」を発足しました。チームは立候補や推薦により参加した理事以外の会員27名と、理事を合わせて40名で構成されています。

第一回検討会はオンラインで開催され、90%を超える高い参加率となりました。栄養士会が実施する研修会の現状を共有するとともに、

今後求められる研修内容や運営方法について活発な意見交換が行われました。参加者から寄せられた意見をもとに、担当理事が協議を重ねて今後の方向性を検討しています。

今後は定期的な検討会を通じて、研修会の企画・運営だけでなく広報活動や当日の運営支援などにも会員が主体的に参画し、「会員とともにつくる栄養士会」の実現を目指します。

●広報誌「栄養ふくい」

広報誌「栄養ふくい」は、福井県栄養士会の活動や会員への情報提供を担う大切な広報媒体として発行を続けています。発行には企画立案から原稿依頼、編集・校正まで多くの労力を要しますが、会員の皆様にとって「手に取りたくなる広報誌」であることを目指し、見やすく、わかりやすく、読みやすい誌面づくりに努めています。また、明るく親しみやすいデザインを取り入れながら、必要な情報を後から振り返って確認できる資料としての役割も大切にしています。会員の皆様からは、「見やすく読んで読みやすい」「親しみやすい広報誌になった」といった声をいた

●おわりに

福井県栄養士会は、会員参加型の活動を基盤に学び・交流・実践を有機的に結びつけながら、地域栄養活動を推進しています。今後は、在宅分野への対応強化やICT活用、人材確保・人手不足対策など新たな課題への対応が求められます。地域に寄り添い、「食」を通じて誰一人取り残さない支援を目指す同会の取り組みは、地域共生社会の実現に向けた管理栄養士・栄養士の役割を体現するものとして、今後ますます重要性を高めていくでしょう。